

遊び方

を知る

タネと綿毛をつけた
セイヨウタンポポ



草笛 — 曲ができれば大名人



アカツメクサ



ミヤコザサ

音の出る草はいろいろあり、鳴らし方も様々です
アカツメクサの大きめの葉（小葉）をくちびるに人差し指と中指で当て強く吹く。枯れたヨブスマソウを1 cm強に切り吹き口を斜めにして吹く（→ p 4）。開く前のササの葉を一度開き、まき直してくわえて吹く。ヨシの仲間やイネ科牧草（オオアワガエリなど）の葉を幅2～5 mmくらいに裂いて両手の親指の2つの関節ではさみ、ピンと張り、すき間を強く吹く。タンポポの茎を切り取って少しつぶして吹く。

どんな音が出るかチャレンジしましょう。

草舟 — 工夫すると連結舟もできる

草舟は、普通「笹舟」といわれるくらいササで作るのにまわっています。でも十勝の場合、川の近くにあまりササは生えていません。

ササほど幅がないのでちょっと作りにくいですが、ヨシの仲間を使って作ってみましょう。



草舟の作り方（イラスト：伊藤由紀子） ミヤコザサ（左）とクサヨシ（右）

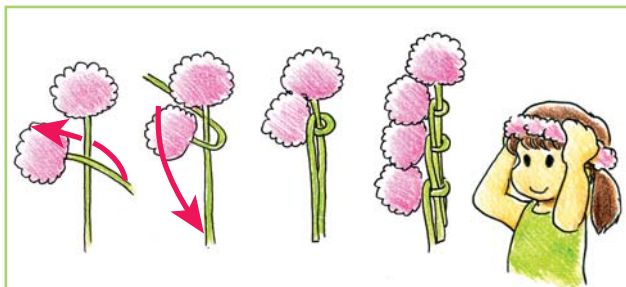
花輪や草ずもう — センスと経験が勝負

他にもタンポポやフキの茎を使って水車を作ったり、キンミズヒキの実をくっつけあったり、花輪を作ったり、葉や花に布をのせて上からたたいて染めてみたり、オオバコなどの茎を2人でからめて引っ張り草ずもうをしたり、草花の遊びはいくらでもあります。

どんな遊びでもそうですが、草花遊びは、必ずしも決まったパターンがあるわけではありません。どんな形になるのかの想像力と計画性、使う植物の大きさ、固さ、色などに関する知識が勝負です。



タンポポ水車の作り方（イラスト：伊藤由紀子）



花輪の作り方。アカツメクサやセイヨウタンポポがたくさんあって、茎も長く作りやすい

参考文献

「遊び図鑑—いつでも どこでも だれとでも—」 奥成達・ながたはる
み 福音館書店 1987
「川であそぼう（インターネット）」 <http://www.kawaasobi.jp/>

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995
「森林で遊ぼうシリーズ3 おもしろい草花の話」北海道立林業試験場 監修 北海道林業普及協会 1996